

次号予告

とびら 精神科作業療法のめざすもの..... 南小倉病院 広 沢 美佐子
特集＝精神医療における作業療法士のあり方

アンケート／精神医療における作業療法士のあり方 高茶屋病院 井上 正吾・他

音楽療法..... 国立武蔵療養所 小 平 憲子

座談会／OT にとっての精神医療の壁..... 府中リハ学院 鈴木 明子・他

展 望 POS..... 厚生省 郡 司 篤 晃

身体標準値とその読み方..... 都補装具研 矢 野 英 雄

講 座 運動学シリーズⅡ

「肩・肘・手関節の Kinesiology (3)」... 府中リハ学院 金 子 翼

雑誌レビュー 1974 年度 Physical Therapy まとめ..... リハ学院 田 村 美枝子

海外便り..... 東大病院 木 村 信 子

メディカルプロGRESS..... 高 知 県 子 鹿 園 江 口 寿栄夫

都精神医学総合研究所 鈴 木 純 一

Q and A A: 都立北療育園 平 向 信 雄

Q: 国立身障センター 鈴 木 正 彦

編集後記

今月は脳卒中の特集を組んだ。本疾患をテーマとした特集は過去にも何度かとりあげられているが、このテーマは何度とりあげても尽きない内容を含んでいる。本号では、論文数は4本と、多くはないが、「老年者のPT」「薬の知識」「失語者への接し方」「書字訓練」と、それぞれ深く掘り下げた論文が並んだ。「老年一」においては、片麻痺の老人に対しては、老化故に引き起こされるリスクを常に頭に入れ、合併症・続発症を防がねばならないとして、様々のリスクにつき、詳しい説明が為されている。「失語症」、「書字訓練」の論文は、言葉・文字というコミュニケーション手段を奪われた患者に対する接し方・訓練方法を詳しく解説したものである。

薬については、基礎的な知識として、PT・OTが知っておかねばならないこと

であろう。長谷川氏の論文は非常にわかりやすくまとめであり、有益である。

「精神科作業療法の展開」は、今回で終了した。宮崎氏の論文を読んで、分裂病患者の治療が如何に困難なものかと痛感した。このケースは、最後まで妄想に支配されており、はっきりした治療効果は見られずにおわった。治療者の御苦労が察せられる。

なお、精神科OT新シリーズ「精神科作業療法の実際」の企画が進行中である（来年度からスタート）。ご期待願いたい。

高松氏の「ねがえり考」は、一見初歩的で、誰もが解っている様な内容と思われそうだが、寝返りというような一つの基本的動作を根本から考察したものは他に余り例が見られないだけに、貴重なものであるといえよう。

(編集室)

<編集顧問>

天 児 民 和
九州労災病院長

五 味 重 春
府中リハ学院院長

砂 原 茂 一
国立療養所東京病院長

津 山 直 一
東京大学教授・整形外科

水 野 祥太郎
川崎医科大学学長
(五十音順、以下同じ)

<編集委員>

上 田 敏
東大リハビリ部

荻 島 秀 男
都養育院リハビリ部

佐 藤 馨
神奈川リハセンター

鈴 木 明 子
府中リハ学院

谷 岡 淳
自治医科大学

田 村 美枝子
清瀬リハビリ学院

寺 山 久美子
都心障センター

松 村 秩
都養育院リハビリ部

<編集同人>

明 石 謙

大 井 淑 雄

大 川 嗣 雄

大 橋 博

鎌 倉 矩 子

紀 伊 克 昌

小 林 夏 子

駒 沢 治 夫

佐 藤 剛

田 原 澄 彦

富 岡 詔 子

奈 良 勲

藤 沢 しげ子

藤 本 欽 也

前 田 守

松 本 妙 子

矢 下 令 子

山 谷 隆 昭

横 山 巖

和 才 嘉 昭

(担当 細田・松橋)